

令和元年度（平成31年度）
上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

岡部さん体験レポート（派遣時：中学2年生）

私は、このホームステイを通して、アメリカで初めてホストファミリーと出会った日が一番印象に残っています。ホストファミリーと初めて会った日、事前にもらった家族の構成が書かれてあった資料で、だいたいのイメージは持っていたのですが、やはり不安などがあって、心配がありました。しかし、心配無用で、出会った瞬間からとても優しく笑顔で迎え入れてくれたことを覚えています。その後、車に乗せられて家に向かうのかと思えば、家を通り越して、私達は、ホストファミリー達が休暇を楽しむ家へと向かいました。そこには、ホストファミリーを含むたくさんの人々がいました。その日は、ホストシスターの「ノエラニ」という人の誕生日でした。私は、ホストファミリーやそれ以外の人とも、とても仲良くなることができました。家に着いてすぐのまだ何も分からない私に、いろいろな人が優しく接してくれました。私は、ホストファミリーのいとこのおじいさんと一緒に夕食まで、卓球をしました。私は、卓球をするのが初めてで、初めはとても不慣れだったけれど、慣れてくるとラリーが続いてとても楽しかったです。その後も他のファミリーとサッカーゲームをしたり、楽しくノエラニを祝ったりしてとても楽しかったです。

アメリカは、日本と違う部分がとてもたくさんありました。例えば、アメリカの家は、あまりエアコンを使わずに生活していました。エアコンがあまり家になくて、どうやって気温を調節していたのかというと、天井についているせん風機の羽のようなものを回して温度を調節していました。また、アメリカの道路はとても広かったです。片道だけでも普通の道路で2列の道路と、どこにでも止めることのできる道路が1列あって、とてもびっくりしました。高速道路は片道だけで5～6列くらいあり、日本よりも視野が広がりました。そして、アメリカのスーパーマーケットはとても広かったです。スーパーの中には、食品だけではなく、家具や服、文具、スマホなどの通話品など、いろいろなものがありました。他にも、シリアルなどの1つの品の種類がとてつもなく、何十種類もあったりなどいろいろな発見がありました。

私は、このホームステイで、たくさんの人に支えてもらいながら、無事に終えることができました。そのおかげで、行く前よりも積極的になれたし、人と会話することの楽しさや、英語のおもしろさを知ることができました。だから、アメリカで学んだ積極性などを学校でも生かして、グループに入ってしゃべれるくらいになりたいと思います。また、アメリカの文化や日本との違いなんかも、いろいろと発見することができました。それを、いろいろな人に伝え、まだ分からなかったり、知らなかったりするアメリカのことがたくさんあるので、今後調べていきたいです。そして、今回のホームステイで、アメリカ人から日本のことについて、さまざまなことを聞かれました。なので、次会った時、すぐにでも答えられるよう、日頃から日本のことについて、いろいろなことを調べて知っておくようにしたいです。

令和元年度（平成31年度）
上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

松波さん体験レポート（派遣時：中学2年生）

私は、今回の青少年人材育成海外派遣事業研修でたくさんの学びがありました。
まず、参加して印象に残ったことは、2つあります。

1つ目は、みんなで映画を見たことです。

テレビで見るのではなく、モニターで見たので、とても迫力がありました。

ポップコーンを持って来てくれたり、寒いから毛布をかけてくれたりするアメリカ人がたくさんいて、アメリカ人の優しさを学ぶことができました。

2つ目は、毎週日曜日にキリスト教会へ行ったことです。

本を見ながら歌を歌ったり、色々な人たちの話を聞いたり、ビデオを見たりしました。

ビデオでは、たくさんの人たちを助けるイエスが行ったことを真似して、たくさんの人たちの悩みを解決する人々が映してありました。きついことでも文句も言わず、何でも人のことを思う姿を見て、とても尊敬の気持ちが強かったです。

色々な人たちの話では、ホストマザーが前に立って、私たちのことを泣きながら語ってくれました。「私たちの所へ来てくれてありがとう」と、何回も何回も言ってくれました。とても感謝しました。

日本とアメリカの違いでは3つあります。

1つ目は、道路です。

車が左を走っていることにとても違和感がありました。日本では右を走るからです。それに、アメリカに着いて1番にビックリしたことが、いきなり高速道路に入ったことです。日本では、1度お金を払って高速に入るのに、アメリカではそのまま高速に入るので、とてもビックリしました。

2つ目は、あいさつです。

アメリカでは、あいさつをする時にハグをされます。最初は、ホストファミリーから紹介された初対面の人からあいさつの時にハグをされるが多かったので、ビックリしました。しかし、アメリカ生活に慣れていくうちに、自分からでもハグをしに行くようになったので、良かったです。

3つ目は、授業の時のボランティアです。

アメリカでは、「自信がない」という人はいなく、その問題の答えがあやふやでも、手を挙げて発表します。その自信は、とてもすごいと思いました。

私は、今回の学習でとてもたくさんのことを学びました。

この経験を活かして、上天草で私はアメリカの良さを色々な人に伝えていきたいです。そして、アメリカ人の優しさを真似して、上天草のすべての人が、「ここに住んでいて良かった」と思えるような所にしたいです。それに、アメリカの発展している所を上天草に持ち込んで、たくさんの観光客が来る町にしたいです。

令和元年度（平成31年度）
上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

永野さん体験レポート（派遣時：中学3年生）

自分は、このアカデミックホームステイに参加することができて、本当によかったと思います。なぜなら、このアカデミックホームステイプログラムを通して異文化交流をしながらも、積極性の大切さや、何ごとにも try することの大切さを学ぶことができたからです。また、異文化交流をする中で、改めて日本の良さに気づくことができたり、アメリカの日本と違った文化を身をもって体験できたのでよかったです。例えば、日本の良さだと、接客の仕事であったり、いろいろな所の清潔さなど、今まであたりまえのことだと思っていたこまかい所に気づくことができたり、アメリカの日本と違った文化でいうと、寝る時間が早かったり、学校の仕組、交通ルールなどです。

今回、自分を受け入れてくれたホストファミリーは、とても親切で、おもしろいファミリーでした。自分は、アメリカへ出発する前、ホストファミリーとあえるのを楽しみにしていた反面、ホストファミリーとうまくやっていけるかという不安もかかえていました。しかし、ホストファミリーと対面するとその不安は一気にふきとびました。最初は、ホストファミリーや現地の人へ自分から話かけることができませんでした。3日目になると、緊張がとけ、自分から積極的に話しかけることができ、そこから最終日までの毎日は本当に楽しくて、時間がとんだかのように早く感じました。また、ホストファミリーは、毎日自分に笑顔で接してくれたり、週末には、自分の好きな bass fishing やクルージング、キャンプなどいろいろな所へつれていってくれました。最初の週末には、大きな川へ行ってボートを出して釣りをしたり、クルージングをしたりしました。自分は、bass fishing がとても好きで、アメリカで初の bass をキャッチできるかと思いましたが、そう簡単にはいかなかったです。そして、アメリカで有名な Bass Pro Shop という、とても大きなバスのお店につれていってくれました。そこで自分は、念願のアメリカンルアーを買えたのでよかったです。2週間目の週末には、キャンプに行きました。キャンプ場では、アメリカのゲームをしたり、host sister のいとこの男子とキャッチボールをしたりしました。その後、川にまたボートを出して、クルージングをしました。その時はちょうど夕方だったので、夕日がとてもきれいでした。

このような、一生の思い出をくれたホストファミリーとの別れは、本当にかなしかったです。このアカデミックホームステイプログラムで学ぶことのできた、積極性や try することの大切さを、今後、生徒会活動やその他のことに活かし、今回のアカデミックホームステイプログラムで学んだことがむだにならないようにしたいです。

最後に、このプログラムに参加させてくれた親、そして上天草市に心から感謝しています。ありがとうございました。

令和元年度（平成31年度）
上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

瀬崎さん体験レポート（派遣時：中学2年生）

僕は、今回の研修に参加して、一番印象に残ったことは、ホストファミリーとの食事です。いつもの日本での夕食は、テレビを見ることと食べることばかりでした。しかし、アメリカでの夕食は、みんなと話しながら楽しい時間が過ごせました。そして、アメリカらしいタコスやピザ、ハンバーガーを手作りで食べられて楽しかったです。食事中は、アメリカの文化、日本の文化を交流しながら会話をすることができました。また、日本食を作った日もありました。おにぎりとおたまご焼き、チャーハン、緑茶、わかめスープを作りました。サクラメントでは、米の生産も有名だそうです、ホストファミリーも好きだったそうです。特にホストブラザーのライアンは、米にしょうゆをかけて食べるのが好きでした。ホストファザーのブライアンさんは、おにぎりが好きで、塩がよく合っているとっていました。昼にラーメンを作った時は、全員に大好評でした。僕は、ホストファミリーに、おいしいアメリカの食文化について学ぶことができたので、もし日本に来たら、日本の食文化をもっと教えたいです。食事前のお祈りも最初は慣れなかったけど、後から合わせてやることもできるようになりました。アメリカで、甘いお菓子もたくさん食べられたので、いい思い出になりました。

終日、研修で行ったサンフランシスコは、少し肌寒かったです。同じカリフォルニア州でも差があると感じました。そして、大きなゴールデンゲートブリッジと高層ビルがあり、とても驚きました。ゴールデンゲートブリッジは、霧がかかっていて逆にすごく感じました。上を歩いてみると、海とたくさん走る車があり、とても頭に残っています。そして、ビルがあつたり、買い物をした「PIER39」では、海が近かったので海に関係のあるものや、ゴールデンゲートブリッジのお土産がたくさん売ってありました。そこで日本の家族などにお土産を買って、大量のアシカも見ました。とても楽しかったです。

僕が感じた日本とアメリカの違いは、積極性です。なぜなら、アメリカの子どもたちは、日本のお菓子をみんな「try」と言っていたからです。日本は他の人にまかせたりするところが多いけど、アメリカでは自分がするという大きな違いがあります。僕も日本では、いつも挑戦はしていなかったもので、とても勉強になりました。

帰ってきて、ホストファミリーと何回かメールをしたりしました。今回のお礼や、日常のことを伝えていこうと思います。また、家族にもまだ伝えられていない体験を話そうと思います。今回の研修は人生でとても貴重な経験になりました。これからは、その体験を活かして積極的に行動をしていきたいです。そして、学校でも積極的に様々な行事を取り組んでいきたいです。